

発行：「御同朋の社会をめざす運動」和歌山教区委員会

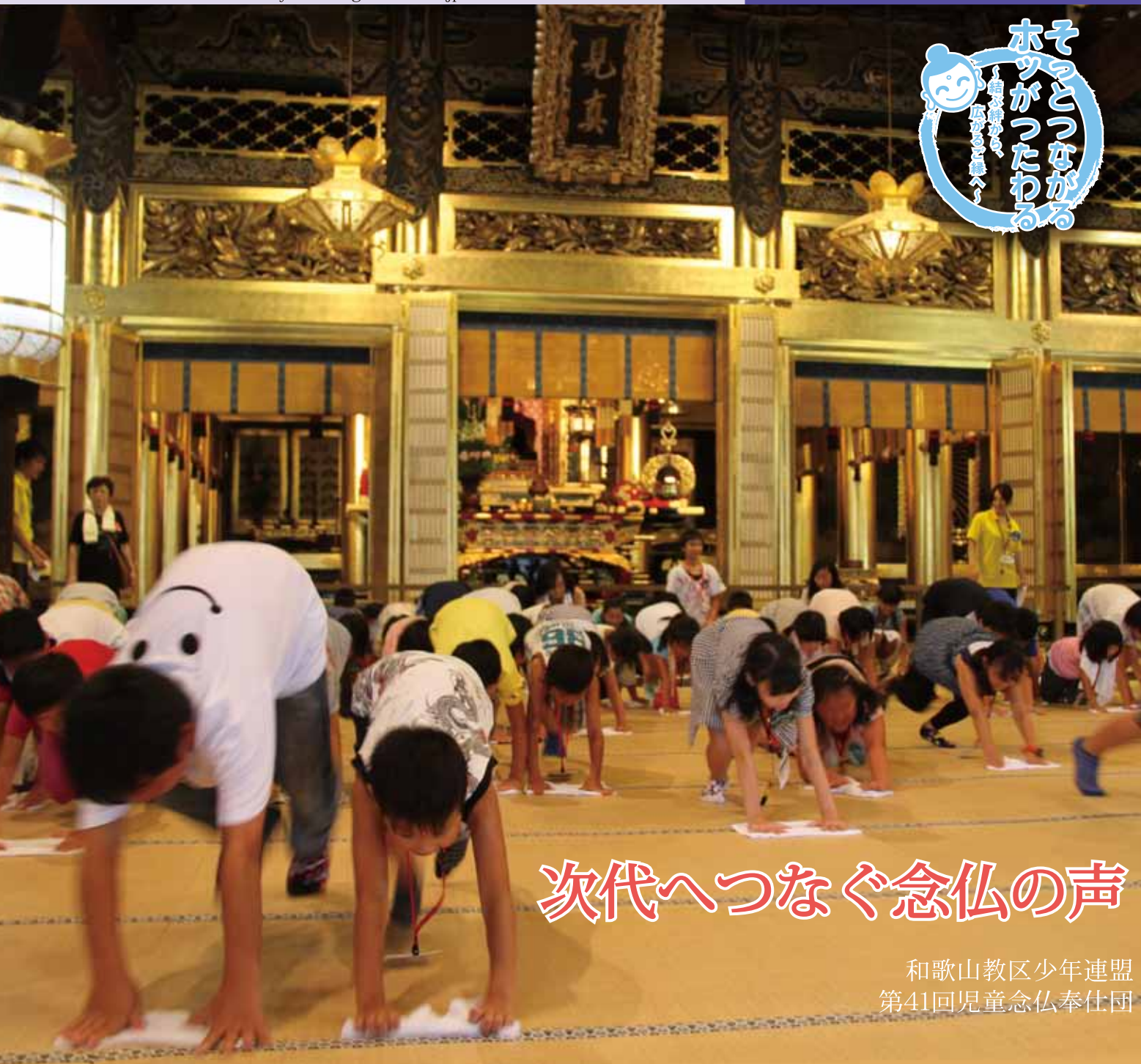
編集：広報伝道部

和歌山教区教務所

〒640-8053 和歌山市鷺森1番地 TEL(073) 422-4677

ホームページ URL <http://saginomori.or.jp/>メール wakayama@saginomori.or.jp

鷺森



次代へつなぐ念仏の声

和歌山教区少年連盟
第41回児童念仏奉仕団

2012年度からスタートした新体制もようやく浸透し、和歌山教区においても「御同朋の社会をめざす運動」和歌山教区委員会、各専門部会が始動しました。

これまでの基幹運動の推進成果を踏まえスタートした重点プロジェクトは、寺院等を核とし、宗門の基本理念として宗制に定められている「自他共に心豊かに生きることのできる社会」を実現するために、ネットワークを築き、具体的な社会貢献をめざすことが目的です。それは、「そつとつながる ホツがつたわる」結ぶ絆から、広がるご縁へ」という総合テーマにある通り、私たちの社会活動を通して繋がる絆が「ご縁」となり、こころの拠り所となる「お念仏」に出会い、その喜びと安心が広まるのが願いなのです。教区・組・寺院の地域性や特性を活かした具体的な社会活動とともに実践してまいります。

また、来年の6月にご門主より新門さまへ法灯が継承されることになりました。

移り変わりゆく世界に生きることを実感しながら、決して変わることはない確かな浄土真宗のみ教えが、ますます伝え広まることを願い、精一杯宗務に努めてまいります。

和歌山教区教務所長 高橋格昭

「御同朋の社会をめざす運動」(実践運動)

新たな体制決まる

和歌山教区

教区委員28名 任期は2年

宗派の実践活動の中核を為してきた基幹運動から、「御同朋の社会をめざす運動」への体制移行にともない、和歌山教区では教区委員会設置のため準備委員会が2012(平成24)年4月20日に開催され、教区委員会設置規則区令案が検討された。そして同年5月8日に招集された臨時教区会において、「御同朋の社会をめざす運動」和歌山教区委員会設置規則案が可決。これを受けて区令2号が發布され、新体制が確立した。7月11日には、第1回委員会が開催され「御同朋の社会をめざす運動」について

の説明、10月11日に開催さ

◆委員

- 西殿憲親(和歌山組代表)
- 木村俊隆(和歌山東組代表)
- 北氏緋紗(和歌山北組代表)
- 藤田隆二(加茂組代表)
- 長谷川義昭(海草組代表)
- 芝山賢祐(伊那組代表)
- 三枝正憲(有賀組代表)
- 近藤昌信(有田北組代表)
- 荻野益次(日高組代表)
- 湯川逸紀(御坊組代表)
- 小野秀康(紀南組代表)
- 辻本真一朗(仏教青年連盟)
- 池長智裕(寺族青年連盟)
- 中山千恵(寺族婦人会連盟)
- 溝根 央(仏教壮年会連盟)
- 津本京子(ビハール和歌山)
- 児玉順彦(門徒総代会)
- 佐々木祐行(キッズサンガ)

以上、敬称略

◆委員

- 稲垣貴史(本派社協和歌山教区支部)
- 梶 信隆(教区会)

自平成24年5月8日
至平成26年3月31日

◆教区委員会 委員

◆委員長 ※1人

松本教智(海南組代表)

◆副委員長 ※2人

宇多光誠(近畿同朋運動推進協議会)

細谷廣延(門徒推進員連絡協議会)

◆常任委員 ※委員長・副委員長各10人

廣田芳英(和歌山西組代表)

生田俊示(有田南組代表)

蓮下義昭(布教団)

藤本使朗(少年連盟)

島村美穂(仏教婦人会連盟)

稲垣貴史(本派社協和歌山教区支部)

梶 信隆(教区会)

和歌山教区「御同朋の社会をめざす運動」(実践運動) 総合基本計画

《運動の願い》

浄土真宗本願寺派では、1986(昭和61)年より「御同朋の社会をめざして」という目標を掲げ、「基幹運動(門信徒会運動・同朋運動)」を進めてきました。このたび、その成果を継承し課題を克服するため、運動名称を「御同朋の社会をめざす運動」(実践運動)と改め推進することとなりました。

宗祖親鸞聖人は、混迷した世のなかにあって、ともにお念仏を喜ぶ仲間を「とも同朋」「御同行」と呼び、苦悩する人々とともに生き抜かれました。私たちの先人はそのお心を受け、「御同朋・御同行」と互いに敬愛し、み教えをまもり広めていこうと努めてこられました。「御同朋の社会をめざす運動」とは、いのちの尊さにめざめる同朋一人ひとりが自覚を深め、浄土真宗のみ教えを社会に広め実践していく活動です。


宗門では、親鸞聖人750回大遠忌法要を迎えるにあたり、今日までの歩みを見直し、将来を見据えた在り方を模索し、そのあるべき姿を最高法規である『宗制』と『宗法』を改正して明示しました。

その『宗制』には、「本宗門は、その教えによって、本願名号を聞信し念仏する人々の同朋教団であり、あらゆる人々に阿弥陀如来の智慧と慈悲を伝え、もって自他共に心豊かに生きることのできる社会の実現に貢献するものである」と記されています。

和歌山教区では、この『宗制』に則り、これまでの運動をさらに継続して、親鸞聖人の生き方を仰ぎ、浄土真宗のみ教えを宗門内外に広げていきます。そのために、同朋教団の確立に向けて、自らのあり方に問い門信徒・僧侶が課題を共有してあらゆる人々が参画できる寺院をめざし、別に定める重点プロジェクトをもとに「御同朋の社会をめざす運動」(実践運動)を進めて参ります。

和歌山教区重点プロジェクト

総合テーマ

そとつながる ホッがつたわる 
 ～結ぶ絆から、広がるご縁へ～

実践目標

日常の寺院活動の活性化：
 寺院の魅力と特色を発揮し、御同朋の社会をめざす。

期間

2012(平成24)年度～2014(平成26)年度

達成目標

社会が抱える過疎化・高齢化・子育てなどの諸問題に積極的に関わって
 いける寺院活動を推進し、御同朋の願いに応える活動を進める。

重点プロジェクト

推進計画

平成24年度

- I 伝道教化・法座活動の実践と支援
 ア) 全員聞法・全員伝道の理念に沿った法座活動の実践と法話会などの展開。
 イ) 葬送儀礼と仏事について僧侶・門徒への理解を深める。
 II 組、寺院におけるキッズサンガ、仏のこどもの育成活動への支援。

平成25年度

- I 伝道教化・法座活動の実践と支援
 ア) 全員聞法・全員伝道の理念に沿った法座活動の実践と法話会などの展開。
 ◆平和を希う念仏者の集い
 平成25年7月9日(火)午後1時30分より
 講師 神戸 修さん
 「教団の戦争責任と日本国憲法」
 ◆門信徒総研修会
 8月31日(土) 第1ブロック 鷺森別院
 9月7日(土) 第2ブロック きびドーム
 9月1日(日) 第3ブロック 田辺シティープラザ ホテル
 ◆開教布教(布教団)
 7月29日(月) 紀南組妙福寺・西法寺
 ◆常例線布教の実施と参拝勸励
 ◆組連研・連研のための研修会等の実施
 ◆教区報・ホームページによる伝道教化
 ◆テレホン法話の周知
 ◆人権問題への取り組み
 イ) 葬送儀礼と仏事について僧侶・門徒への理解を深める。
 葬儀冊子の頒布
 勤式講習会の実施
 II 組、寺院におけるキッズサンガ、仏のこどもの育成活動への支援。
 教区キッズサンガの開催「平成25年12月14日(土)」
 各組キッズサンガへの支援
 寺院子弟研修会の開催

平成26年度

前年度の反省により教区の課題を明らかにし運動を展開する

実践運動の推進へ、教区一丸

専門部会を設置

総勢39人体制

2012(平成24)年12月19日に開催された御同朋の社会をめざす運動教区委員会(以下教区委員会)の常任委員会で、実践運動をより強力に推進することを目的として「和歌山教区委員会専門部会設置に関する内規」が制定され、教区委員会に4つの専門部会が設置された。各専門部会の名称と所掌事項、委員は次の通り。

なお、専門部会の委員は、教区委員会の委員、及び教務所長の推薦する者をもって構成され、その任期は、教区委員会設置規則第4条第3項が準用される(2会計年度)。

社会問題担当部

- (1) 教区内の差別・人権・平和問題への対応と啓発に関すること
(7月9日 平和の日)
- (2) 人権問題に関する外部団体との連絡提携に関すること
- (3) 社会福祉活動推進に関すること
- (4) その他必要なこと

〈専門委員〉

- 西永由子 (和歌山組西教寺)
- 北島道子 (和歌山組宗善寺)
- 北氏緋紗 (和歌山北組教願寺)
- 赤阪紀子 (加茂組眞教寺)
- 小島由美子 (加茂組光輪寺)
- 中岡俊樹 (海南組願成寺)
- 荻野昭裕 (海南組浄國寺)
- 稲垣貴史 (海南組蓮乗寺)
- 刀禰諦存 (海草組積善寺)
- 宇多光誠 (伊那組光明寺)
- 藤本恵英 (伊那組極樂寺)
- 山本行圓 (伊那組蓮乗寺)
- 荻野益次 (日高組浄明寺)
- 津本京子 (御坊組天性寺)

門信徒教化部

- (1) 門徒推進員養成連続研修(連研)に関すること
- (2) 門信徒の研修に関すること
(ブロック研修会)
- (3) 仏の子ども育成活動に関すること
(キッズサンガの推進)
- (4) その他必要なこと

〈専門委員〉

- 辻本真一朗 (和歌山組西念寺)
- 児玉順彦 (和歌山組西法寺)
- 佐々木祐行 (和歌山組専養寺)
- 内田 孝 (和歌山組本弘寺)
- 島村美穂 (若さぎ会)
- 貴志幸子 (和歌山西組建徳寺)
- 北本一紀 (和歌山北組浄源寺)
- 寺本泰宣 (加茂組教徳寺)
- 溝根 央 (伊那組浄願寺)
- 生田俊示 (有田南組称念寺)
- 藤本使朗 (日高組即生寺)
- 細谷廣延 (御坊組専福寺)

寺院活動推進部

- (1) 僧侶・寺族の研修に関すること
(勤式講習会、僧侶・寺族研修会・寺院子弟研修会など)
- (2) 伝道教化・法座活動の実践と支援に関すること
- (3) その他必要なこと

〈専門委員〉

- 藪田香樹 (和歌山組妙慶寺)
- 島 和夫 (和歌山組西覺寺)
- 池長智裕 (和歌山組善行寺)
- 廣田芳英 (和歌山西組安楽寺)
- 北本一紀 (和歌山北組浄源寺)
- 三澤 泉 (海南組西専寺)
- 蓮下義昭 (海南組西光寺)
- 芝山千世美 (伊那組西照寺)
- 藤岡大祐 (伊那組照光寺)
- 柳岡直樹 (御坊組常照寺)
- 藤 俊乘 (紀南組善福寺)

広報伝道部

- (1) 教区報に関すること
- (2) テレビホン法話に関すること
- (3) ホームページに関すること
- (4) その他必要なこと

〈専門委員〉

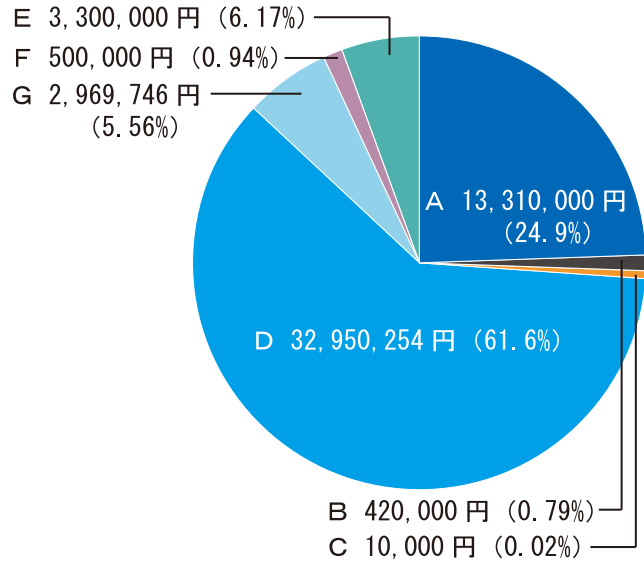
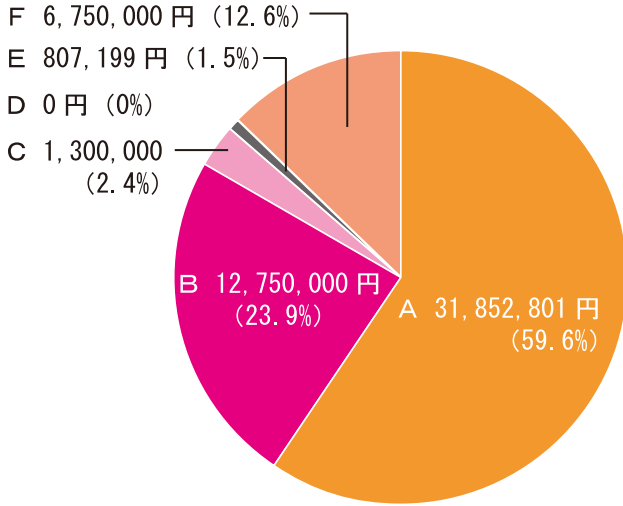
- 大須賀拓善 (和歌山組法林寺)
- 寺本泰宣 (加茂組教徳寺)
- 荻野龍裕 (海南組浄國寺)
- 藤本恵英 (伊那組極樂寺)
- 木下真人 (御坊組善妙寺)

2013(平成25)年度 和歌山教区一般会計予算

(自:平成25年4月1日~至:平成26年3月31日)

歳入の部 53,460,000 円

歳出の部 53,460,000 円



歳入の部

款	費目	本年度予算額
A	教区賦課金	31,852,801
B	宗派交付金	12,750,000
C	願記手数料	1,300,000
D	回金	0
E	雑収入	807,199
F	繰越金	6,750,000
	合計	53,460,000

歳出の部

款	費目	本年度予算額
A	実践運動推進費	13,310,000
B	会議費	420,000
C	宗会選挙事務費	10,000
D	教務所費	32,950,254
E	維持費	3,300,000
F	回金	500,000
G	予備費	2,969,746
	合計	53,460,000

2013(平成25)年度 和歌山教区特別会計災害対策費歳計予算

2012(平成24)年5月8日、第1回臨時教区会の議決を経て、和歌山教区災害対策規則の一部を変更する区令(区令第1号)が發布され、和歌山教区特別会計災害対策費の中に「寺院積立金」が新たな項目として設けられた。この会計は、和歌山教区として、災害にそなえ、被災寺院などの救援復興に必要な資金を確保する事を目的とし、この区令変更により、教区内寺院に積立金を毎年依頼し、資金として繰り入れ災害時に備える。

歳入の部

款	項	費目	本年度予算額
1		積立金	8,622,000
	1	年度積立金	300,000
	2	寺院積立金	556,000
	3	繰越見込積立金	7,766,000
2		雑収入	8,000
	1	雑収入	8,000
		合計	8,630,000

歳出の部

款	項	費目	本年度予算額
1		対策費	500,000
	1	対策費	500,000
2		次年度繰越金	8,130,000
	1	次年度繰越金	8,130,000
		合計	8,630,000

鷺森テレホン

紙上法話

和歌山教区海南組西光寺

蓮下義昭

友がみなわれよりえらく見ゆる日よ
花を買ひ来て
妻と親しむ

啄木

神童のほまれ高く、自負もしていた石川啄木でしたが、その誇りが崩れた日、花に親しみを得ました。無邪気に花はただ咲いています。比べる愚かさを知らせてくれたのでしょうか。

昔は、阿弥陀さまを「親さま、親さま」と呼んで親しんだ同行がいました。「敬う」よりも、もつと深

い心が、そのお同行の胸にひろがっていたのです。親と子の間には、なんのへだたりもありません。

さて、昨年から和歌山教区布教団の連続法座として『歎異抄に親しむ』を持たせていただきました。『歎異抄』は、数えきれないほど解説書がでています。

昭和六年(1931)、岩波書店が初めて文庫本でこれを出し、今まで、およそ百版刷られてきました。第二次世界大戦中にこの一冊をひそかに持って戦場に征った学徒兵が何人もいました。幸い戦後帰国した一人が安良岡康作先生です。

「素直なる心返れと読み上げる聖の言葉永遠に新たな

り」と詠んでいます。「ジャワ島に出征していた五年間に、この文庫本を反復して読み全文を暗記した」と語っています。

戦後は、NHKラジオ放送でこれを語り、多くの人に感銘をあたえ、『歎異抄全講読』という名著を残しています。また、哲学者の西田幾太郎は「この一冊さえあれば世界中の本がなくともよい」とまで言っています。

「親しむ」こころ

歎異抄法座のご縁に

和歌山教区布教団連続法座

るのでしよう。

唯円の願いは、「かなしきかなや、さいはひに念仏しながら、直に報土に生れずして、辺地に宿をとらんこと。一室の行者のなかに信心異なることなからんために、なくなく筆を染めてこれをしるす」とあります。「皆さん、どうか親鸞聖人と同一のご信心をいただいで、聖人が参られたお浄土に必ず往生させていただき

ます。

『歎異抄』は原稿用紙四十枚にも足りない小本です。繰り返し読んで、そのたびに新しい感動がおこるのは何故でしょうか。それは、ここに再現されている親鸞聖人のご信心味得の深さからくるのです。

また、近侍していた著者唯円の願いのつよさからく

ましよう」という心です。

『歎異抄』の中で、私ももつとも親しく拝読させていただくのは第二章です。「おのおのの十余箇国のさかひをこえて」という書き出しから、「このうへは、念仏をとりて信じたてまつらんとも、またすてんとも、面々の御はからひなり」という所までを、私は常に

口ずさみます。すると、七五〇年の隔たりがたちまち消え、今ここに聖人がいらつしやる思いがします。「ただ念仏して弥陀にたすけられよ」と教えてくれた師源空聖人への敬慕の心、自分こそ地獄一定であるとの御宣言、それを救う本願念仏の確かさ：真宗はすべてここにおさまっています。

ありがたい、歎異抄さんは一筋道、なむあみだぶつさいちはこれにふくめられてをるか。わたくしはこれにふくめられてをります。うれしゅうありますよ。

と、浅原才市は歌いました。「親しむ」こころは、それを無くしては生きてゆけない、真実の生活はそれと一体でなければ成りたないものであるという心です。五十余年、私から離れなかつた『歎異抄』です。真宗にご縁をいただいた幸せを思います。

なむあみだぶつ

ラジオ放送番組
みほとけとともに
- 西本願寺の時間 -

- ◆毎週土曜日
- ◆午前5時50分から (10分間)
- 和歌山放送 (WBS) -
- 和歌山・串本 1431 kHz
- 田辺・すさみ 1233 kHz
- 橋本・高野山 1485 kHz
- 新宮・御坊 1557 kHz

鷺森テレホン法話
おにしさん
073-422-0243

こころの電話 (海南組西光寺)
TEL(073) 487-2430

ヤングこころの電話 (同上)
TEL(073) 487-0404

こころの電話 (御坊組専福寺)
TEL(0738) 44-0874

本願寺鷺森別院
報恩講

2013(平成25)年
11月24日~28日

布教使 **栗原一乗** 師
(備後教区)

●法要

- 24日(日)~26日(火)
毎座 午後1時30分から
- 27日(水) 大逮夜
逮夜法要 午後1時30分から
御伝鈔拝読 午後7時から
通夜布教 午後9時から午前0時まで
- 28日(木) ご満座
日中法要 午前10時から

《行事・集い日程》

- 24日 仏教壮年会連盟集い
- 25日 寺族婦人会連盟集い
- 26日 門徒総代会集い
責任役員・門徒総代辞令伝達式
- 27日 仏教婦人会連盟集い
チャリティバザー
(本派社会福祉推進協議会)
僧侶・寺族物故者追悼法要

和歌山教区布教団連続法座
歎異抄に親しむ
和讃

- 会場 本願寺鷺森別院
- 講師 蓮下義昭 師
- 開講日 ※毎月第2水曜日開講
- 2013年 2014年
- ⑦10月9日 ⑩1月8日
- ⑧11月13日 ⑪2月12日
- ⑨12月11日 ⑫3月12日
- 時間 午後3時~午後5時
- 参加費 (各回一人) 1,000円
- ※僧籍をおもちでない方は無料です。
- どなたでもご参加いただけますので、お誘い合わせお越しく下さい。

宗会議員総選挙

宗会議員の任期満了に伴う総選挙が行われ、和歌山教区では、2012(平成24)年12月10日開催の僧侶宗会議員選挙会において、荻野昭裕氏(海南組浄國寺住職)が無投票で当選した。

(2期目)

続いて12月12日に開催された門徒議員選挙会において、内田孝氏(和歌山組本弘寺門徒)が当選した。

(1期目)



内田 孝氏
(和歌山組本弘寺)



荻野昭裕氏
(海南組浄國寺)

第17選挙区(和歌山教区) 地方選挙管理委員会 委員改選、任期は4年

第17選挙区(和歌山教区)地方選挙管理委員会では、委員の任期満了に伴う改選により、左記の方が委員として就任。

地方選挙管理委員会は、宗会議員選挙に関する事務およびこれに関係のある事務を管理し、委員は教区内の教師および門徒から教務所長が常備会の同意を得て進達した者について、総長より任命される。

- 任期 自平成25年6月1日 至平成29年5月31日
- 〈委員長〉 湯淺正英 有田南組寶林寺
- 〈委員長代行〉 三浦憲雄 有田北組極楽寺
- 〈委員〉 中谷眞澄 和歌山西組正立寺
谷口庄亮 伊那組西照寺
曾和忠平 有賀組正善寺
- 〈予備委員〉 岡 京子 和歌山組念誓寺
木村俊隆 和歌山東組善正寺
小島義英 加茂組光輪寺
山本 如 日高組莊嚴寺
山口幸代 海南組慶證寺
- 敬称略



教区会

議長 梶 信隆氏
副議長 児玉 順彦氏

2012年3月31日の任期満了に伴い、各組において教区会僧侶議員、門徒議員の選出がなされ、同年5月7日に招集された臨時教区会において議長に梶信隆氏、副議長に児玉順彦氏が選出された。各議員は次の通り。(敬称略)

〈僧侶議員〉

- 和歌山組 西光寺 釘貫祐彰
和歌山東組 西教寺 西岡俊雄
和歌山西組 正圓寺 藤下寿了
和歌山北組 浄永寺 山本法道
加茂組 教念寺 児玉眞英
海南組 慶證寺 吉村眞典
海草組 報徳寺 長谷川義昭
伊那組 光明寺 宇多光誠
有賀組 正善寺 志場正敏
有田南組 本勝寺 妻木尚武
有田北組 教蓮寺 菅原 昴
日高組 即生寺 藤本使朗
御坊組 安養寺 佐々木俊紀
紀南組 正念寺 梶 信隆
〈門徒議員〉
和歌山組 西法寺 児玉順彦
和歌山東組 浄徳寺 津村恒雄
和歌山西組 正善寺 八尾 進
和歌山北組 永正寺 杉山好英
加茂組 浄満寺 藤田眞嗣
海南組 西法寺 宮本 勲



組長会

会長 松本教智氏
副会長 中山勝丸氏
副会長 湯川逸紀氏

2012年3月31日の任期満了に伴い、各組において組長の選出がなされ、同年5月11日に開催された組長会において、会長、副会長が選出された。各組長は次の通り。(敬称略)

- 和歌山組 西覺寺 島 和夫
和歌山東組 正善寺 吉田隆英
和歌山西組 万福寺 加藤典彦
和歌山北組 慶圓寺 北條法聖
加茂組 願稱寺 荻野行一
海南組 了賢寺 松本教智
海草組 安養寺 中山勝丸
伊那組 極楽寺 有沢晃暁
有賀組 円照寺 三枝正憲
有田南組 称念寺 生田俊示
有田北組 教念寺 立森秀芳
日高組 円行寺 片桐淨映
御坊組 三宝寺 湯川逸紀
紀南組 妙道寺 北條一穂

得度許可

- (平成24年3月〜平成25年8月)
2012年
3月 平井 実 御坊組西教寺
5月 山本和恵 伊那組蓮乗寺
9月 鷲山和希 和歌山組西慶寺
2013年
2月 藤下洗俊 和歌山西組正圓寺
川嶋教広 有田北組光明寺
3月 三浦雄成 有田北組極楽寺
北畑千洋 加茂組光輪寺
伊藤明子 御坊組安楽寺
5月 菌田秀香 和歌山組妙慶寺
8月 山本顕生 和歌山北組浄永寺
清水光顕 御坊組専福寺

教師授与

- (平成24年3月〜平成25年8月)
2012年
3月 西岡顯道 和歌山東組蓮光寺
西岡顯教 和歌山東組蓮光寺
玉川英城 有賀組西方寺
6月 宮本欣勇 和歌山東組蓮光寺
中田真慈 伊那組教善寺
雜賀雅樹 有田南組正法寺
8月 辻本真一朗 和歌山組西念寺
島 晃祐 和歌山組西覺寺
生田 敦 有田南組称念寺
2013年
4月 森 薫 海南組教法寺
5月 芝山了恵 伊那組西照寺

敬 弔

- (平成24年3月〜平成25年8月)
和歌山組 圓光寺 住職 5月3日
刀祢重範 前住職 5月3日
加茂組 青蓮寺 前住職 7月26日
齋藤昭道 前住職 7月26日
海南組 大専寺 前住職 8月1日
辻本ケイ 前住職 8月1日
有田北組 安養寺 前住職 9月30日
板原千鶴 前住職 9月30日
和歌山北組 永正寺 前住職 10月3日
杉山美佐子 前住職 10月3日
和歌山北組 善教寺 前住職 10月18日
河野真澄 前住職 10月18日
和歌山北組 正念寺 前住職 10月23日
藤本史郎 前住職 10月23日
和歌山北組 光源寺 前住職 11月29日
和歌山北組 桃善寺 前住職 11月29日
和歌山東組 桃善寺 前住職 11月29日
森博文 前住職 2月9日
御坊組 三宝寺 前住職 2月14日
湯川華子 前住職 2月14日
和歌山西組 徳号寺 前住職 4月19日
栗本正博 前住職 4月19日
和歌山北組 法照寺 前住職 5月10日
海草組 法照寺 前住職 5月10日
池見忠夫 前住職 5月11日
御坊組 一念寺 前住職 5月11日
笹野むめ 前住職 5月11日
海草組 蓮乗寺 前住職 5月25日
稲垣治子 前住職 5月25日
加茂組 浄満寺 前住職 5月31日
藤田洵子 前住職 5月31日
海南組 了賢寺 前住職 6月19日
海南組 朝子 前住職 6月19日
海南組 西法寺 前住職 7月24日